

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

## 資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 労働関係法 | 職場と労働法 (5) 三位一体 (労働時間・賃金・休養) の係わりを考える②

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

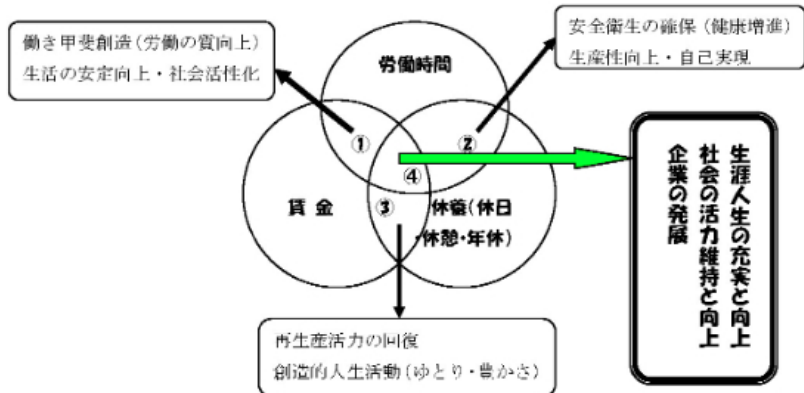
資本論

### 職場と労働法 (5) 三位一体 (労働時間・賃金・休養) の係わりを考える②

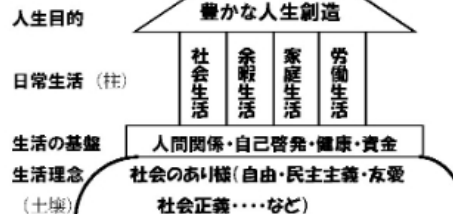
(クリックするとPDFファイルが開きます)

### 三位一体(労働時間・賃金・休養)の係わりを考える ②

三位一体(労働時間・賃金・休養)とは、



#### 現代労働者の生き方



私たちは、労働時間が労働者にとってどういう意味を持っているのか捉えることが必要です。それは、歴史的に、そして現代労働者の人生にとってというふうにもその関係性を通して見ることによって、単なる労働条件や労働法の政策(条文)的な発想ではなく、その重要性が見えてきます。

全てが繋がりの中で営まれ  
活・人生。労働時間もいろんな  
素と繋がりが、保わりあい  
労働の営みが続きます。  
労働に對し、最初に「法」  
った、ではありません。  
労働運動や社会運動を通し、  
「労働者」の尊厳を守り、人  
としての生き方を発展させる、  
ような崇高な運動・活動を通  
労働のルールが形成されてき  
です。先人の運動なくして現  
「労働法」は存在しません。  
時代を超えた繋がりが、多く  
働者の共通の思いとしての  
り、社会を構成する人々との  
り・繋がりの中で、合意した  
ルとして存在します。  
このような係わりを無視し  
たかも「労働法」のみで存在  
かのような捉え方は過ちの基  
ります。  
底流にある労働そして労働  
の意味と関係性を考察するこ  
必要です。

教育カリキュラム

日本国憲法

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

**Worker's Library 会員登録**  
お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

**Worker's Library** 静岡で働く人のための資料閲覧サイト  
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.